

II 広島大学 II

「小学校の英語教育を考える」シンポジウムを開催

広島大学は1月9日、東広島キャンパスにて、教育学研究科の初等カリキュラム開発講座・学習開発学講座共同主催によるシンポジウム「小学校英語教育の未来…現状と今後のあるべき姿を考える」を開催した。学生、小中高等学校の教員、大学研究者、民間の英語学習指導者、一般市民など延べ138人が参加した。

最初に、大津由紀雄明海大学外国語学部教授が「小学校での言語教育を考える―英語教育導入の流れの中で―」と題し、母語教育としての国語教育と外国語教育としての英語教育を一体化する問題提起をした。続いて行われたシンポジウムでは、柳瀬陽介広島大学大学院教育学研究科教授は「小学校教員の授業と授業研究での「語り合う力」に依拠すること」と、朝倉淳広島大学大学院教育学研究科教

授は「体験と言語、思考や認識と言語、人間関係と言語との関係の重視」を提案した。また本岡寛東広島市立東西条小学校教諭は「英語教育強化地域拠点事業の指定校としての実践」を報告するとともに、「児童の英語能力の評価」などを課題として指摘した。

最後に、司会の難波博孝広島大学大学院教育学研究科教授が「小学校英語教育の導入で新たな「ことば」の指導プログラムを開発する」という方向性を示し、シンポジウムを締めくくった。



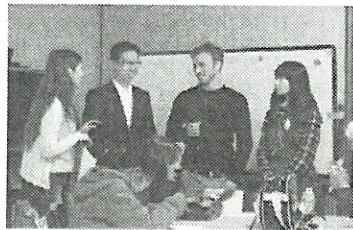
司会の難波教授の発言に耳を傾ける参加者ら

II 広島大学 II

短期交換留学プログラムの実践 研究発表会 開催

広島大学短期交換留学プログラム(HUSA)の留学生はこのほど、東広島キャンパスの学生プラザにて「多文化共生の地域づくり」実践研究発表会を開催した。発表会では、地域と連携して多文化共生社会の推進のための実践研究を行っている留学生がプロジェクト企画案を発表した。

11月10日に開催されたプロジェクト企画案発表会に引き続き、第2回目となる今回の発表会では、北米・ヨーロッパ・オセアニア・アジアの19カ国34大学からの交換留学生36人が、HUSA担当の恒松直美国際センター准教授による司会・進行のもと、英語で研究発表を行った。発表について、堀田泰司副理事(国際担当)、教育学研究科のプレット・ウォルター特任講師、広島県立日彰館高校の先生方が、留学生の企画の実現に向けて、企画案の内容と進行状況について助言や意見を述べた。



現在、留学生は5、6人のグループに分かれて、地域小学校における異文化理解促進のための英語授業、音楽を通じた国際交流、県の国際プラザでの異文化理解セミナー開催、地域商業祭での自国文化紹介など、多岐にわたるアイデアを実践するために、キャンパスや地域に働きかけている。

II 広島大学 II

スーパードグローバル大学創成支援事業セミナー「SERUワークショップ」を開催

広島大学は1月28日、第4回広島大学スーパードグローバル大学創成支援事業セミナー「SERUワークショップ」を開催した。

同大は、スーパードグローバル大学創成支援タイプA(トップ型)に採択された「世界をキャンパスとして展開する広島大学改革構想」に基づき、SERU (Student Experience in the Research University) 国際コンソーシアムに加盟している。SERU国際コンソーシアムは、カリフォルニア大学バークレー校高等教育研究センターを拠点とし、アメリカを中心に、加盟する国内外の研究大学が共通の学生調査を実施することで、大学生の活動に対する理解を深め、研究大学が直面している主要課題を共同で研究する活動で、同大では今年度から学生調査の試行を開始したところである。



講演する渡邊教授



本ワークショップでは、学生調査をさらに推進するため、SERU(AAU(アメリカ大学協会)マネージングディレクターであり、ミネソタ大学機関評価室ディレクター)のロナルド・ヒュースマン博士と、日本で最初にSERU国際コンソーシアムに加盟した大阪大学から戦略企画室の齊藤貴浩准教授を招き、広島大学高等教育研究開発センターの渡邊聡教授も加わり、「SERUとは何か」「SERU学

II 山口大学 II

「女性研究者支援事業に関する学長・理事と教員との懇談会」を開催

山口大学は1月12日、吉田キャンパス第2会議室において「女性研究者支援事業に関する学長・理事と教員との懇談会」を開催した。

同懇談会は、同大で女性研究者支援を推進するにあたり、支援制度利用者および女性研究者支援室員(支援協力教員)から、アンケート調査では把握しきれない質の高い要望や

研究とライフイベントとの両立における実態等について直接意見を聞くことにより、現行制度下における課題とその解決方策を考え、改善のためのアクションにつなげることをねらいとしている。

懇談会には、岡正明学長および理事5名、教員からは「研究補助員制度」の利用者4名と女性研究者支援室の山崎鈴子室長および室